メリッサ・リーチ氏（英国サセックス大学開発研究所所長）によるＳＤＧｓに関する講演会を開催

二〇一五年一一月一九日、アジア経済研究所（以下、アジ研）はＪＩＣＡ研究所と共に、英国サセックス大学開発研究所（以下、ＩＤＳ）の所長であるメリッサ・リーチ氏を迎えて特別講演会を実施しました。ＩＤＳは、途上国や新興国の開発における研究や教育等を専門とする国際的に著名な機関のひとつです。

本講演会はミレニアム開発目標（ＭＤＧｓ）の後継的目標である「持続可能な開発目標（ＳＤＧｓ）」をトピックとして開催され、同目標に向けた取り組みや、開発研究機関としての役割についての議論がなされました。

講演ではリーチ所長により、①国際的なＳＤＧｓをとりまく潮流、②そのなかでＩＤＳが「格差の是正」「持続性の促進」「より包括的かつ安全な社会の構築」を三つの柱として掲げる中期的な事業戦略（二〇一五～二〇二〇年）、そして③ＩＤＳがそれに基づいて行うＳＤＧｓに向けた取り組み等の発表が行われ、また日本の研究機関についての期待も述べられました。これに対して、アジ研からは佐藤寛上席主任調査研究員がコメントで応答するなど、実りある議論がなされました。


講演中のメリッサ・リーチ所長

本講演会の開催を導いたアジ研とＩＤＳの交流

本講演会をアジ研が主体となり開催できた背景には、アジ研とＩＤＳの長い人的研究交流があります。古くは、過去にアジ研に在籍していた元研究員が、ＩＤＳの著名な教授と個人的な人脈を有していたことが皮切りとなったようですが、近年においても前述の佐藤上席主任調査研究員をはじめ、アジ研からＩＤＳへ人材を派遣した実績が複数あります。

また二〇一二年には、前ＩＤＳ所長であるローレンス・ハッダード氏を開発問題専門家としてお迎えしたこともあります。さらに同年、アジ研が一九九〇年より実施している開発スクール（ＩＤＥＡＳ：経済協力・開発援助の現場において高度な専門性を持って活躍できるエキスパートの育成を目指した研修事業）に、ＩＤＳの元教授（当時教授）であるジョン・ハンフリー氏を特別教授としてお招きした経験もあります。これらは、ＩＤＳ派遣時に培った佐藤上席主任調査研究員と同氏のつながりが生んだ成果です。ハンフリー氏はまた、来年度にアジ研で実施予定の研究会にも委員としての参加が決まっており、アジ研の研究事業にも大いに関わっています。今回リーチ所長に登壇していただいた講演会も、ハンフリー氏がＩＤＳとアジ研の架け橋として対応してくれたことが、実現に至った大きな要因といえます。


講演会の様子

このように、機関同士の継続的な交流は、それがフォーマルであれインフォーマルであれ、時に機関の垣根を越えた価値のある活動につながります。今回の講演会は、他機関との関係性作りの重要性を改めて気づかされる機会となりました。

アジア経済研究所の最新イベント情報は、ホームページ（http://www.ide.go.jp/Japanese/Event/）から確認できます。

（文責：研究マネジメント職　荒木慶太郎）